

機械式時計 取扱説明書・保証書

取説 No. G-23 e

この度はクォーツウォッチをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品を末永く御愛用頂ける様に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いいただけますようお願い申し上げます。なお、この保証書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。本書は機械式時計の説明書です。お買い上げの時計の種類に該当する説明を探し、よく読んで、時報などを参考に時間を合わせてください。

- 製品や説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる場合があります。
- この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は許可なく変更・複製しないでください。

保証書

製品型番
お買い上げ日
お客様氏名
お客様住所
ご連絡先電話番号
販売店印

※保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証規定

- 保証書及び本保証規定に記載した内容によりこの時計を保証致します。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です
 - 保証期間中、正常なご使用状態において、万一故障が発生した場合は、本保証規定によりお買い上げの日より1年間無償で修理・調整させていただきます。本保証書と現品をお買い上げ店にご呈示ください。
 - 保証期間中であっても、下記の場合には有償となりますのでご了承ください。
 - ① 誤ったご使用またはお取扱い上の不注意による故障。
 - ② 火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
 - ③ 分解による故障・不具合
 - ④ ご使用中に生じた外装・外観上の変化
 - ※ケース・ガラス・リュース・バンドのキズ、色落ちなど
 - ⑤ 保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名・捺印・お買い上げ年月日の記入が無いなど、記入事項に不備がある場合。
 - 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
 - 修理の時、ケース・文字盤・針・ガラス・リュース・バンドなど、パーツについては、一部代替部品を使用する場合がございますので御了承ください。
 - 時計本体以外のパーツ(チェーン・ストラップ・BOXなど)は保証の対象外となりますのでご了承ください。
 - 最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池切れによる電池交換などは保証の対象外となります。お買上げ後、電池が切れた際には時計専門店・クォーツアフターサービスなどに電池交換(有償)をご依頼ください。
- ご記入頂いたお客様情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。
- この保証書により保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

定期点検について

- 長くお使い頂ける様、電池交換及び2~3年に一度の点検をおすすめ致します。保油状態・液漏れの有無・汗や水分侵入の有無などを、お買い上げ店または取扱店で点検(有償)してもらってください。点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合もあります。
- 点検時にバッキンやバネ棒の交換もご依頼頂くと、さらに安心してお使い頂けます。また、部品交換の時は[純正部品]とご指定ください。

自動巻時計用説明

自動巻時計は、腕を振る動きなどで時計内部のローター(回転錘)がゼンマイを巻き上げます。そのため、基本的には手でゼンマイを巻かなくても作動します。また、ほとんどのモデルは手でリュースを回してゼンマイを巻くこともできます。(手巻機能が無いモデルもあります)

止まっている時計をお使いになるときは、「ゼンマイの巻き方」をよく読んでリュースを回すか時計を軽く振って始動させてください。
※手巻機能が無い場合は時計を軽く振ってください。

製品仕様

- 作動温度範囲 -5℃~+50℃
- 機械時計の性質上、携帯時間・温度・携帯方法・ゼンマイの巻き上げ量等、ご使用条件によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。
- 精度は一定では無く、毎日微妙に変化します。実際に使用したときの時計の進み・遅れは1日で判断せず、一週間の平均から判断します。

手巻時計用説明

手巻時計はゼンマイがほどこける力を利用して動きます。リュースでゼンマイを巻き上げることから手巻式と呼ばれます。ゼンマイは毎日巻く必要がありますが、強く巻きすぎるとゼンマイが切れてしまう事があります。より長くお使いいただくために「ゼンマイの巻き方」をよく読んでからお使いください。

止まっている時計をお使いになるときは、「ゼンマイの巻き方」をよく読んで、リュースを回して始動させてください。

製品仕様

- 作動温度範囲 -5℃~+50℃
- 機械時計の性質上、携帯時間・温度・携帯方法・ゼンマイの巻き上げ量等、ご使用条件によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。
- 精度は一定では無く、毎日微妙に変化します。実際に使用したときの時計の進み・遅れは1日で判断せず、一週間の平均から判断します。

製品について

- 秒針付きモデルの場合、製造精度上秒針が文字盤の目盛りと合わない場所がありますが、時計の性能への影響はありません。
- 全ての図は説明用で、実際の状態を表したものではありません。デザインや数字の表示スタイルなどが実際の製品とは異なりますので、あらかじめご了承ください。
- リュースの位置は、腕時計や懐中時計等、モデルにより異なりますが操作方法は同一です(以下のねじ込み式リュースをのぞく)。各針や日付など表示の種類が当てはまる項目を参照して、そのモデルのリュースを使って各操作を行ってください。

リュース位置例

※例以外に位置する場合もあります

腕時計等		懐中時計等
横位置	斜め位置	縦位置

- ねじ込み式リュースの場合は、図の手順でリュースを回しロックを解除してから操作してください。また、時間を合わせた後は確実にリュースをロックしてからお使いください。



- ① リュースが飛び出るまで、リュースを反時計回りに回して、ロックを解除します。
- ② 時刻合わせが終了したら、時計回りにリュースを押し付けながら回して、ロックします。

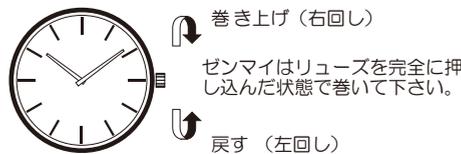
時間の合わせ方

- 使用方法 A B C D のうち、お買い上げの時計の種類に合った説明をご覧ください。
- 時刻合わせは、時報等を参照しながら行ってください。
- リュースを完全に引き出して秒針が止まらない場合は、秒針停止装置がついておりませんので、秒単位の時刻合わせはできません。

ゼンマイの巻き方(重要)

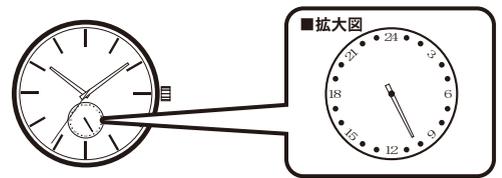
- 左手に時計を持ち、右手の親指と人差し指でリュースをつまみ、巻き上げたら(右回し)手を離さずに戻し(左回し)また巻き上げる(右回し)という手順を繰り返して、静かにリュースを使って巻いていきます。
- 巻く時の感触が重くなってきたので、そこからは一層優しくゆっくり巻いていきます。
- これ以上は巻けないという状態になったら、ゼンマイが完全に巻き上がっています。巻き過ぎるとゼンマイが切れてしまいますので、それ以上は巻かない様にしてください。

※巻き過ぎによるゼンマイの破損は保証対象外です



- ゼンマイは一定の力を与えることが大切です。毎日1回だけ、決まった時間に巻き上げる様にしてください。※一日に何度も巻くと、時計の寿命を縮める事になります。
- ゼンマイを巻く時は、必ず完全に巻き上げて下さい。途中で巻き上げを止めるとスプリングにケガれ付き、そこから破損する事があります。
- ゼンマイは強く巻き過ぎると切れてしまう事がありますので、回し過ぎには時にご注意ください。

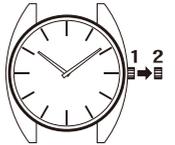
24時間表示時計について



■ 24時間針は12時間針と連動して単独では動かさせません。時刻合わせは24時間針が正しく表示される様に気を付けて行ってください。時刻合わせは A B C D のうち、該当する使用方法を参照してください。

A 2針時計

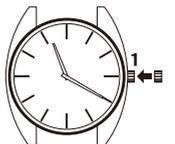
- ① リュースを2の位置まで引き出します。



- ② リュースを回して針を合わせます。まず、正しい時刻より4~5分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。

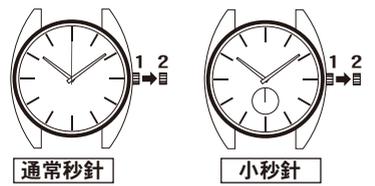


- ③ 時報と同時にリュースを押込み1の位置に戻します。ねじ込み式リュースの場合はリュースを押付けながら止まるまでしっかりとねじ込んでください。



B 3針時計

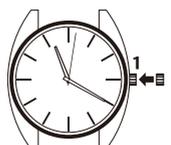
- ① リュースを2の位置まで引き出します。秒針が止まるモデルの場合は、秒針を12時の位置に止めます。



- ② リュースを回して針を合わせます。まず、正しい時刻より4~5分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。



- ③ 時報と同時にリュースを押込み1の位置に戻します。ねじ込み式リュースの場合は、リュースを押付けながら止まるまでしっかりとねじ込んでください。



C 3針日付表示時計

※ 3/1、5/1、7/1、10/1、12/1には日付が合わなくなりますので合わせ直してください。

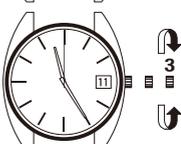
- ① リュースを2の位置まで引き出します。この位置では日付が動きます。



- ② リュースを回して正確な日の、前日の日付を表示させます。その後、リュースを3の位置まで引き出します。秒針が止まるモデルの場合は、秒針は12時の位置に止めます。



- ③ リュースを回し日付が変わるまで針を進めます。午前の場合はそのままにします。なお、午後の場合は、時計が一度12時を超えるまで針を進めます。正しい時刻より4~5分針を進めます。つぎに、針を戻して、正しい時刻にします。



- ④ 時報と同時にリュースを押込み1の位置に戻します。ねじ込み式リュースの場合は、リュースを押付けながら止まるまでしっかりとねじ込んでください。



日付設定時のお願い

- 午後9時~午前3時までは日付を合わせないでください。この時間帯で日付を合わせると、翌日になっても変わらない事がありますので、この時間帯に針を動かしてから合わせてください。
- 日付は24時間に一度変わるように設計されています。午前/午後を間違えない様に注意してください。

D 3針日付/曜日表示時計

※3/1、5/1、7/1、10/1、12/1には日付が合わなくなりますので合わせ直してください。

①リユースを2の位置まで引き出します。(秒針は動いています)この位置では日付が動きます。



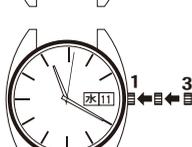
②リユースを回して正確な日の、前日の日付と曜日表示させます。その後リユースを3の位置まで引き出します。(秒針が止まります)秒針が止まるモデルの場合は、秒針は12時の位置に止めます。



③リユースを回し日付が変わるまで針を進めます。午前の場合はそのままにします。なお、午後の場合は、時計が一度12時を超えるまで針を進めます。正しい時刻より4～5分針を進めます。つぎに、針を戻して、正しい時刻にします。



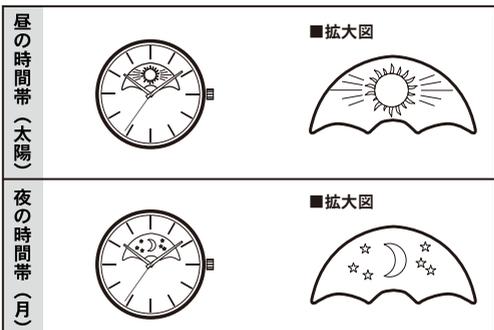
④時報と同時にリユースを押し込み1の位置に戻します。ねじ込み式リユースの場合は、リユースを押し付けながら止まるまでしっかりとねじ込んでください。



日付設定時のお願い

- 午後9時～午前3時までは日付を合わせないでください。この時間帯で日付を合わせると、翌日になっても変わらない事がありますので、この時間帯に針を動かしてから合わせてください。
- 日付は24時間に一度変わるように設計されています。午前/午後を間違えない様に注意してください。

サン アンド ムーン表示時計の使用方法



■サンアンドムーンは時刻と連動して単独では動かせません。時刻合わせは昼(太陽の表示)と夜(月の表示)が正しく表示される様に気を付けて行ってください。時刻合わせはA B C Dのうち、該当する使用方法を参照してください。

フタ付懐中時計の開閉方法

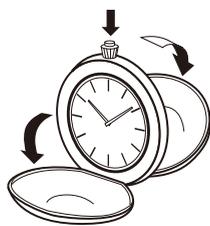


フタ付懐中時計で時間を見る時には、リユースの上部を押して蓋を開けてください。

開いたフタに無理な力を掛けないでください。破損の原因になります。

両面蓋付懐中時計のフタは二段階になっています。リユースの上部を軽く押すと正面のふたが開き、更に押込むと裏面のフタが開く様になっていますが、強く押すと両方同時に開く事があります。両面のフタを開けると置時計としてお使い頂けます。

■フタを開ける時は、カチッと言った音がするまで押し戻してください。



安全上の注意

■ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては、一読してご確認の上必ずお守りください。

警告

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死にまたは重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

防水ねじ込み式リユースについて

注意

- 10気圧～気圧防水時計のリユースは、ねじ込み式となっているタイプがあります。時刻合わせの際にはリユースを回してネジをゆるめてから、時刻・日付の修正を行なってください。修正が済みましたらリユースを押し付けながら、止まるまでしっかりとねじ込んでからご使用ください。
- 使用上の不注意による、ねじ込み式リユース部分からの水入りの場合、修理は有料となります。

防水性

警告

- 非防水・日常生活防水(3・5気圧)の時計は、水の中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水(10～20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。
- 防水構造の時計でもシャワーや入浴等の温水では使用しないでください。

防水性能表

性能	防水性				
	非防水	日常生活防水	日常生活用強化防水	10	20
気圧	—	3	5	10	20
洗顔や雨など、一時的にかかる水滴	×	○	○	○	○
家庭の水仕事や雨など	×	×	○	○	○
水泳や水仕事など、長時間にふれる場合	×	×	×	○	○
空気ポンペを使用しないスキndaイビング	×	×	×	×	○
空気ポンペを使用する本格的なダイビング	×	×	×	×	×
濡れた状態での、ボタンやリユースの操作	×	×	×	×	×
シャワーや入浴などの温水での使用	×	×	×	×	×

※気圧の数値は、ケースの裏や文字盤に、下記のように表記されています。(記載がないものが、非防水の時計です。)

気圧を表す表記例

- (例)・WATER RESISTANT
- ・WATER RESIST
- ・WR・BAR

※防水性能にはバンドは含まれません。

注意

- リユースは常に完全に押込んだ状態(通常位置)でご使用ください。
- 水中あるいは水分がついたままでリユース及びボタン操作をしないでください。内部に水分が入り、防水不良・故障の原因となります。
- 非防水時計については一時的にかかる水滴(洗顔時の水はね雨など)や汗にもご注意ください。万一、水や汗で濡れた場合は乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- 防水構造の時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。
- 日常生活用強化防水時計(10～20気圧防水)の場合、海水に浸った後は、ケースについた海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。
- 時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部の湿気より低い時などにガラス面がくもる事があります。くもりが一时的な場合は支障ありませんが、くもりが長時間消えなかったり、時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買上げ店にご相談ください。

夜光

- 時計の夜光には蓄光性塗料を使用しております。この塗料は性質上時間の経過とともに輝度が弱まります。

水銀・化学薬品・ガスなど

注意

- 水銀・化学薬品(シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類)・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破損する場合がありますので、充分ご注意ください。

その他

注意

- 懐中やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによってお客様の大切な衣類や身体を傷つける可能性がありますので充分にご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計が原因で思わぬケガを負う可能性がありますので、充分にご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったりアレルギーによるカブレをおこしたりする場合がありますので充分にご注意ください。

かぶれやアレルギー

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
- かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
- 万一肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。

ケースやバンドのお手入れ

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと、衣服を汚したり、肌の弱い方はかぶれたりする事があります。汚れや水分はそのままにせず、柔らかい吸水性の良い布でふき取り、常に清潔にお使いください。また、汗をかきやすい季節等には、バンドを少しゆるめにして通気性を上げるなどして、お使いください。

メッキパーツ

- 金属バンドやその他金属・プラスチック部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキの腐食やハガシの原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする可能性もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

銀製品

- ケースやバンドが銀または銀メッキ製品の場合、酸化物や硫化物など(空気中や人体の老廃物など身の回りに多く存在します)と反応して表面が変色する事があります。その様な場合は、市販の銀製品用クロスなどを使ってお手入れしてください。元の色合いに戻ります。

金製品

- ケースやバンドが金製の製品の場合、以下にご注意下さい。金は柔らかい材質です。ぶついたり、落としたりすると、変形や破損しやすいので、取り扱いにはご注意ください。

磁気・衝撃・温度など

- 磁石など、磁気のある物に近づけないでください。
- 磁気
- ・磁石付き健康器具、冷蔵庫のマグネットドア電氣、溶接器、電動メーシャン台、携帯電話のスピーカー部分など強い磁界を発生する器具には、近づけないでください。
- ・磁気の影響を受ける磁気帯びが進み遅れが生じます。磁気帯びた場合は「磁気抜き」が必要になります。詳しくはクレファアアフターサービスへお問合せください。

携帯電話と一緒に保管をしないでください。

- 携帯電話はスピーカー等に強い磁気があります。磁気に影響を受けたり、時計自体が磁化されると、止まってしまう・遅れる・動いたり、止まったりするといった症状が出ます。一緒にバッグに入れたりしないよう、ご注意ください。
- ※工場など大型モーターの近くのご使用は避けてください。

- 軽スポーツによる影響はありません。
- 衝撃
- ・床に落とす、ぶつかる等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。

- 乗り物等の軽い振動による影響はありません。
- 振動
- ・オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。

- 35℃をこえる場所での精度は保証できません。
- 温度
- ・直射日光が長時間あつたり、高温になる所に置かないでください。
- 5℃に満たない場所での精度は保証できません。
- ・寒い所に長時間置かないでください。

- ※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。
- ※極端な高温・低温の場所に放置すると、時計が止まるなど、様々な故障の原因となる事がありますのでご注意ください。

アフターサービスについて

- 保証期間中のアフターサービスについては、保証規定をご確認の上お買上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。保証期間中は原則的に修理が可能ですが、保有パーツの在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承願います。
- 修理の時、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させて頂く事もありますのでご了承ください。
- 実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他ににお買上げ店と修理工場との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

製造元 株式会社クレファア

株式会社クレファアアフターサービス

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1
TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106
(土日休を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)

手巻き時計用

■製品仕様

各時計の精度及び駆動時間は、ご使用状況（時計の置き方、向き・温度等）により個体差があります。この表は目安としてご利用ください。

製品型番	精度（日差）	駆動時間 （最大に巻き上げた状態）	ハック機能（※）
BT-AP321	±45秒	約30時間	なし
BT-AP322	±45秒	約30時間	

（※）リューズを引いた時に秒針が停止する機能